

まちづくり部会



「ブラックイルミネーション 2007 in ひらかた」

今年もまちづくり部会を中心に、CO₂削減のためライトダウンキャンペーンを6月22日（金・夏至の日）～24日（日）まで実施しました。メインイベントである「ブラックイルミネーション 2007 in ひらかた」では、夜8時から10時の2時間、ひらかたパーク大観覧車のイルミネーションを始め、ライトアップ施設の照明を消していただくよう、省エネルギーを広く市民に呼びかけました。

『きらりひらかた市民会議』に参加を申し込み、「魅力あふれる生き生きとしたまち」をテーマに活動を開始しました。活動内容・方向は、「1. 緑豊かな潤いのあるまちをつくる」「2. 地域の自然・歴史的文化的遺産の活用」「3. 景観づくり市民会議の立ち上げと地域コミュニティとの連携」です。興味のある方、活動したい方は、ぜひご参加ください。

環境教育サポート部会



第3期 ひらかた環境くらわんか塾 開催予定

今年も「ひらかた環境くらわんか塾」を開催します。昨年は、実際にS-EMS（学校版環境マネジメントシステム）の審査も体験していただきました。昨年の受講生の方からお声を頂いているので紹介させていただきます。「環境保全活動を行っていますと、企業サイドでの一方的な環境保全活動（企業にとって都合のいいような活動）となりがちです。本当に、地域の環境のことを考えているならば、もっと地域（枚方市全体）に係り、お手伝いできることがあるはずではないかと思って受講しました。講座については、戸惑うことはありませんでしたし、S-EMS実習の際の審査帳票もわかりやすくまとめてありました。」

（枚方市内 OA 機器製造工場の環境保全担当者）



運営委員会



運営委員に新メンバー

還暦を過ぎて4年になりました。桜井正昭（さくらい・まさあき）です。昨年春より、会社の勤務日数も週1日になり、会社や社会から育てていただいた経験や知識で何かお役に立てることではないかと思っていました。また、環境問題や自然災害に興味を持っており、その関係の人々との出会いを積極的に求めておりました。折り良く“ひらかた環境ネットワーク会議”を紹介いただき昨年の春に入会し、ごみ・エネルギー部会の第2期自然エネルギー学校を今春卒業しました。現在はごみ・エネルギー部会とひらかた市民共同発電所プロジェクトで活動をしています。

プロジェクトでは枚方市民をはじめ他の市町村からの多数のご支援、発電所設置保育園の園児さんや関係者の盛り上がりを肌で感じるなど、活動に参加して良かったと思っております。

運営委員としては、会社生活を経理一筋できましたので、主に事務局の経理に少しでもお役に立てればと考えております。NPOの発展に向けて頑張りますので、よろしく願いいたします。



ひらかた自然エネルギー学校 2007 第 3 期受講生募集

「体験、創造、実践」をキーワードに、ワークショップや見学を取り入れた充実のプログラム。ともに第一歩を踏み出しましょう！

校期：平成 19 年 9 月～平成 20 年 2 月 全 7 回
(第 2 または第 3 土曜日)

時間：午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分
(第 3 回のみ午前 10 時～午後 4 時 30 分)

会場：メセナひらかた会館 4 階研修室

内容：太陽光、風力、小水力、雨水、バイオマス等の自然エネルギー利用と普及の方法について学び、家庭や地域での実践を考える

募集人数：30 名

受講料：一般 1 万円、会員 9 千円(全 7 回分、教材費等) 単講座受講可

主催：NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議

ひらかた環境くらわんか塾 2007 第 3 期受講生募集

環境教育サポーターになって学校版 EMS の審査に同行しましょう！

校期：平成 19 年 9 月～平成 20 年 2 月 全 8 回
時間：午前 10 時～午後 12 時

(第 4 回のみ午前 10 時～午後 4 時)

会場：メセナひらかた会館 5 階職業講習室
(京阪枚方市駅北口より徒歩 5 分) 他

内容：“S-EMS による環境教育活動”をサポートする「環境教育サポーター」の育成

募集人数：30 名

受講料：2 千円(全 8 回分、教材費等)

その他：終了生には「環境教育サポーター証」を発行。S-EMS 審査に同行し、環境教育活動をサポートすることが期待される

主催：NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議

ひらかた地産地消プロジェクト

ひらかた自然農法塾：(財)自然農法国際研究開発センターと穂谷地区で、農業を家業としている当会会員の上武さんの協力を得て、無農薬有機農法の可能性を研究しています。独自に有機農法を目指しているメンバーも参加し、実際に作物を育てながら有機農法の研究を続け 1 年になります。啓蒙チームの協力を得て、自然農法で栽培した上武さんの野菜の頒布会を、いろいろなイベントで行い、この活動を市民に知っていただけるよう努力しています。

生ごみのたい肥化：ごみ・エネルギー部会が中心となり、NPO 法人エコ・スマイルひらかたの協力を得て、枚方市が進めている学校給食残さのたい肥化実験や、家庭生ごみのたい肥化推進を研究中。

自然栽培野菜の販売：5 月、枚方市駅に NPO 法人ホース・フレンズ事務局の事業としてホースセラピー牧場がオープン。その会場で自然栽培野菜の頒布を行っています。合わせて馬糞のたい肥化の研究も行っています。

無農薬有機栽培技術を学びたい方、自然農法塾生の野菜に興味ある方は、事務局までご連絡ください。



自然栽培野菜の販売

場所：ホース・フレンズ枚方セラピー牧場横(京阪電車「枚方市駅」北口より徒歩 5 分)
日時：毎週土曜日 午前 10 時～(完売次第終了)

イベント&募集 お知らせ コーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。
072・847・2286

ライトダウンキャンペーン 2007

ご協力ありがとうございました！

6月24日(日)の「ブラックイルミネーション2007」(一斉消灯)は、市内多くのご家庭、事業者、施設の参加・協力をいただきました。ありがとうございました！！

参加・協力いただいた事業者・施設は、「環境ひらかた10月号」に掲載させていただきます。「ライトダウン川柳」の応募締切は7月20日(金)必着です。ご応募お待ちしております！

ネットワーク会議の会員を募集しています

「ひらかた環境ネットワーク会議」に参加し、活動を支える会員を、市民(個人、団体、サークル、NPO)、事業者から広く募集しています。

入会を希望される方は、電話・FAX、Eメールで、事務局までお申込みください。

「環境のへえ～」 Vol.12

『バイオマスの将来性』

環境情報誌で、日本のバイオマス分布、現在の実現度、持続可能性などが整理されています。

日本のバイオマスの分布は以下の通り。

- ・木質系 …… 33%
- ・食品廃棄物 …… 22%
- ・製紙系 …… 19%
- ・家畜糞尿 …… 14%
- ・農業残さ …… 6%
- ・下水汚泥 …… 6%

木質系が多いのが特徴。

現在の実現度が高く、持続可能性も高い技術

- ・廃天ぷら油からのバイオディーゼル
- ・食品加工廃棄物からのバイオガス
- ・下水汚泥からのバイオガス など

現在の実現度が低くても、持続可能性が高く、将来有望と考えられる技術

- ・間伐材・端材を利用したバイオマス発電
- ・木質ペレットや薪の熱源としての利用
- ・家畜糞尿からのバイオガス

持続可能性が低い技術

- ・インドネシア、マレーシアからのバイオディーゼル燃料の輸入など

輸送時の石油資源の使用など、トータル収支も考えて、日本のバイオマス資源を上手く活用していきたいものです。

< 30秒で読む環境情報! >

市政60周年 記念事業 枚方バースデー ワークショップ

公共交通や地域情報を紹介するバスマップを作成し、その完成記念に実施する「お披露目イベント」について、アイデアを出し合います。

「こんな情報があったら面白そう便利だろう」など、皆さんのご提案をお待ちしています。

一緒に枚方のバスマップを作りましょう！ぜひご参加ください。



日時：7月21日(土) 午後2時～午後4時

場所：枚方市 市民会館第1集会室

定員：40名

申込み：7月2日(月)午前9時から電話、Eメールにて受付

問合せ：NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議

TEL 072-847-2286

E-mail jimukyoku@hirakata-kankyou.net

会員数 203名：正会員 171名(個人 143、非営利団体 19、営利団体 9)

賛助会員 32名(個人 32、非営利団体 0、営利団体 0)

平成19年6月30日現在

団体紹介 コーナー

マイライフ新聞社

昭和 59 年 1 月創刊

(枚方・交野を中心に月 2 回 15 万部を発行)

従業員：8 名 代表：外村 淳

<http://www.mylife-np.com/>



地域の身近な情報と共に 環境保護の大切さも発信していきたい！



代表 外村 淳氏

創刊以来 24 年を迎える読売新聞系の地域情報紙「マイライフ新聞」は、毎月 1 日・15 日の月 2 回 15 万部ずつを発行しています。安心・安全・信頼をモットーに、環境・教育・医療に特に重点を置いた紙面作りを進めており、2002 年 3 月にはマイライフ新聞社社員を含む有志と「枚方・交野地球村」、枚方市の主催で、高木善之さん（ネットワーク・地球村代表）を迎えての地球環境講演会を枚方市民会館大ホールで開催するなど、環境問題に関して積極的に取り組んでいます。

また、ひらかた環境ネットワーク会議主催で昨年 3 月に開催された「バス！のってスタンプラリー」や、今年 6 月の「バス！のってスタンプラリー 日置天だんじりと山田池の旅」（6 月 15 日号で 1 面掲載）への同行取材をはじめ、牧野駅から自転車を活用して町中を走る企画など、地域におけるさまざまなイベントを取材・掲載することで市民に環境保護の啓発を継続しています。

これからもマイライフは地域に密着したメディアとして、市民の皆様へ環境に対するさまざまな情報・取り組みを取材・発信し、市民一人ひとりが無理なく取り組める環境問題改善の提案を分かりやすく広報していきたいと考えています。

編集後記

「節電を 未来のために がんばるぞ。」これは昨年募集したライトダウン川柳の最優秀作品です。環境に対する将来への不安とその解決のために何かできないかという小学生の素直な気持ちが伝わってきます。環境問題の解決には、市民一人ひとりが意識を持つことが大切です。「がんばろう」と気張る必要はありませんが、気が付いた時にほんのちょっと行動を起こすことができればと思います。今年も 6 月 24 日にライトダウンキャンペーンを実施しました。環境問題を考える第一歩、ほんのちょっとの行動のきっかけになればうれしいです。 (鍛治谷 記)

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第 14 号

平成 19 年 7 月 1 日発行（年 4 回発行）

発行：(特活) ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-0042 大阪府枚方市村野西町 5 番 1 号

サブリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

F A X 072-847-2286

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：谷崎 利男

編集責任者：廣田 武司

この会報誌は古紙再生紙・ソイインクを使用しています。



古紙配合率100%再生紙を使用しています
白濁はがきです